

# 幼児教育における 「アセスメント」

群馬大学大学院教育学研究科  
大島みずき

# 幼児教育におけるアセスメントの重要性

幼児教育：環境を通して行う遊びを中心とした教育活動

遊び：遊ぶこと自体が目的であり、人の役に立つ何らかの成果を  
生み出すことが目的ではない

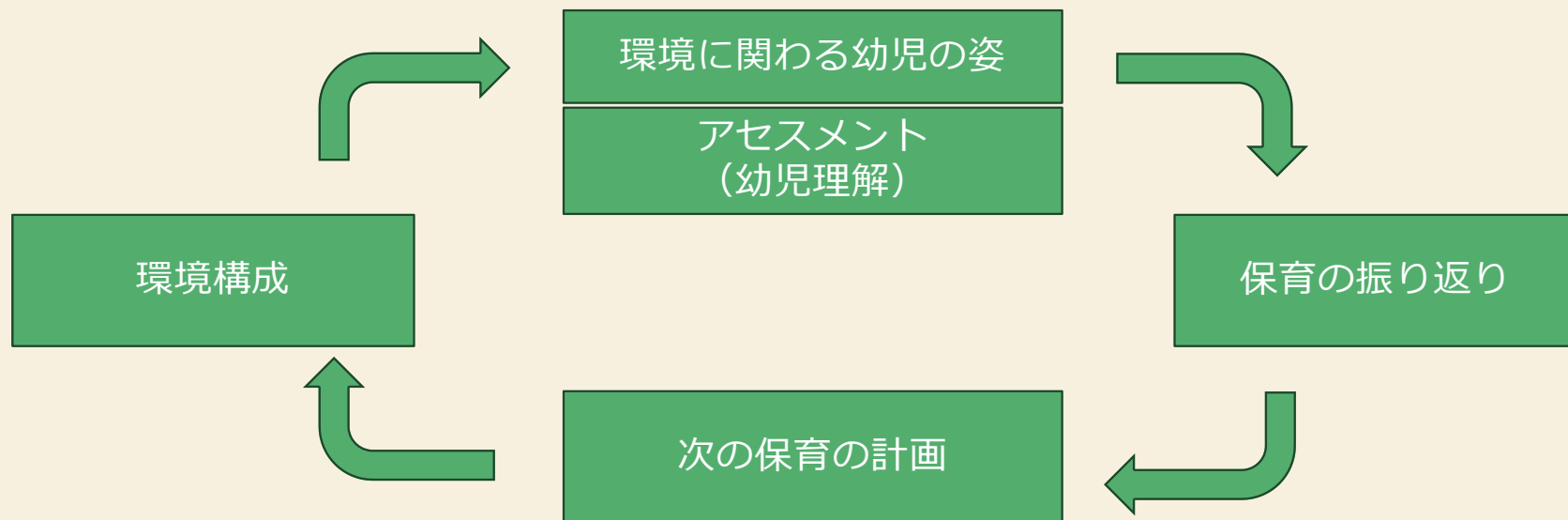
→それぞれの子どもで活動の目的が違う！  
何もしないと「楽しかったね」で終わってしまう。



# 幼児教育のアセスメントの目的

アセスメント＝保育を評価し次の実践を計画するためのもの

- ・子どもを理解した上で、その変化を捉えながら自分の保育を振り返る
- ・子どもを理解した上で、子どもの興味を踏まえた次の環境を整える



# 幼児教育のアセスメントの方法

- ・「観察」がメイン

幼児の姿や言葉(誰かに伝えたことば, つぶやき)を**記録**する。

- \* 子どもの活動や姿は一人一人違う

  - 共通のチェックリストのようなものは馴染まない。

- \* 結果よりも過程による幼児理解が重要

  - 何ができたではなく, どのような過程で結果に至ったかを記録

- \* 幼児の全体を把握する

  - 遊びの中で育まれるのは1つの力だけではない。

- ・観察の視点も様々

幼児はどのような経験をしているのか, 何を楽しんでいるのか, 何に挑戦しているのか, 誰と関わっているのか

- ・エピソードによる記録

- ・学びの物語

- ・ドキュメンテーション

# エピソードによる記録

何が起きたかの記録。事実と考察を分けて書く。

A児はずっと太鼓橋を友達と一緒にやっていた。最初はできなかったが渡り切ることができた。楽しそうだった。

A児は10分ほど太鼓橋を渡る友道を少し離れたところから見ていた。数人の友道がわたり切るのを見た後、自分も挑戦する列に加わった。一番高いところまでは行けたがそのあと動けなくなり、教師に助けを求めた。

その後、A児は再び太鼓橋を渡り切る友道の姿をじっと見ていた。しばらくするとまた列に並び、登り始めた。今度は頂上で向きを変え、太鼓橋を渡り切ることができた。近くで見えていた教師のに近づき「できた」と言って笑った。



# 学びの物語

「子どもの学び」を捉える視点(学びの構え)

A児は10分ほど太鼓橋を渡る友達を少し離れたところから見ていた。数人の友達がわたり切るのを見た後、自分も挑戦する列に加わった。一番高いところまでには行けたがそのあと動けなくなり、教師に助けを求めた。  
その後、A児は再び太鼓橋を渡り切る友達の姿を時と見ていた。しばらくするとまた列に並び、登り始めた。今度は頂上で向きを変え、太鼓橋を渡り切ることができた。近くで見ていた教師のに近づき「できた」と言って笑った。

関心を持つ

熱中する

困難に立ち向かう

考えや感情を  
表現する

自ら責任を負う

M.カー(2013)

10分ほど太鼓橋を渡る友達を少し離れたところから見ていた。

A児は再び太鼓橋を渡り切る友達の姿を時と見ていた。

しばらくするとまた列に並び、登り始めた。

近くで見ていた教師のに近づき「できた」と言って笑った

→子どもが肯定的に見えるようになるための視点

# ドキュメンテーション

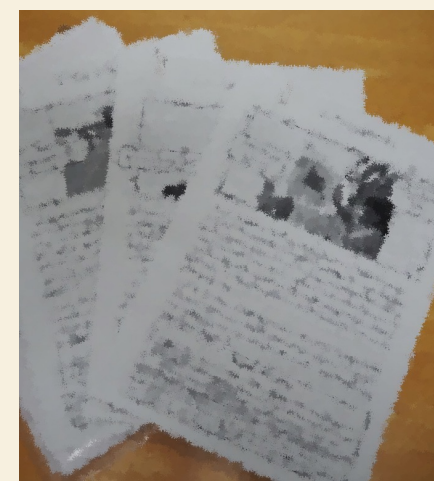
活動の流れが「みんなに」わかる

- 活動の流れがわかるような写真と文による記録
- 教師同士，保護者と共有することにより，園での活動を共有。
- 毎日／活動／遊び／集団／個人
- 子どもと作り上げることによる「学び」の意識化  
→有能な学び手としての自信



# ポートフォリオ

ドキュメンテーションの蓄積と共有

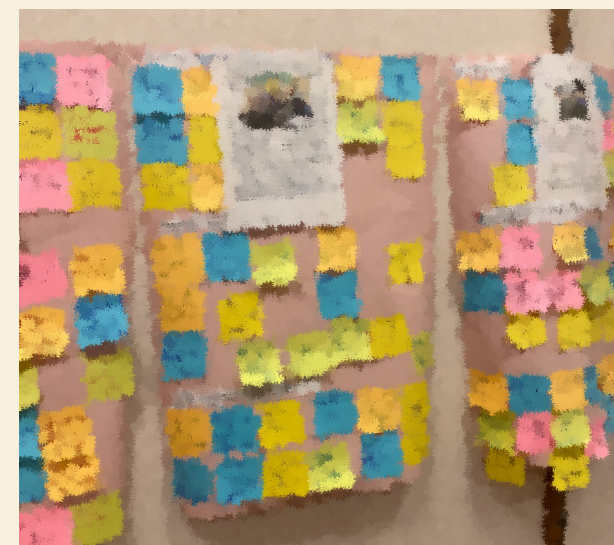


ドキュメンテーションやその他の記録の蓄積  
→発達の過程を記録する

前橋市立宮城幼稚園での実践(大島・加藤・金子, 2023)

一人一人の個人のポートフォリオを作成, 保護者と共有。子どもたちが経験していることの視点として「**幼児期の終わりまでに育って欲しい姿<sup>\*1</sup>**」を利用

<sup>\*1</sup> 健康な心と体／自立心／協同性／道徳性・規範意識の芽生え／社会生活との関わり／思考力の芽生え／自然との関わり・生命の尊重／数量や図形, 標識や文字などへの関心・感覚／言葉による伝え合い／豊かな感性と表現





# 引用参考文献

- 秋田喜代美・松本理寿輝(2021). 保育の質を高めるドキュメンテーション 園の物語の探究 中央法規出版株式会社
- M.カー(2013).保育の場で子どもの学びをアセスメントする 「学びの物語」のアプローチの理論と実践 (訳)大宮勇雄・鈴木佐喜子 ひとなる書房
- 文部科学省(2018). 幼稚園教育要領解説
- 文部科学省(2021). 指導と評価に生かす記録
- 大豆生啓友・岩田恵子(2023). 役立つ！生きる！保育ドキュメンテーションの作り方 西東社
- 大島みずき・加藤綾子・金子仁美(2023). 幼稚園における個人ポートフォリオを用いた記録の共有 群馬大学教育実践研究 40 261-270.
- 汐見稔幸(2023). 汐見先生と考える子ども理解を深める保育のアセスメント 中央法規出版株式会社